髏を吾等が正義の劍の切先に貫いて今日の祭壇に捧ぐる事の出來なかつた事であります。併し乍ら常峰君一介の走狗の骸髏を捜し出す事は必ずしも難事ではない、けれども吾々はその多數の走狗共を一令の下に自由に動かす事の出來る權力の根源を打倒すことの諸君の爲めにも亦吾々が根本的に解放される上からも良く有效であると信ずるが故に其方法に向つて驀進しつゝあるのであります。

私共は此の解放の喜びを諸君の靈に告げ得る時は卽ち諸君が地下に安らかに瞑目するを得る時なのであります、而してそれは決して遠い將來ではない、現に吾隣接露西亞に於ては永い間多數の民衆を虐げ、掠奪して來た特權階級が屠られて働かぬ者は喰ふべからざる勞働階級獨裁の新社會が作られてゐるのであります、斯くて彼等に取つての危險思想——眞理開拓の思想が澎湃として漲り渡りつゝあるのであります、其の實現の日は眼前に迫りつゝあるのであります。

以上經過を述べて諸君の靈に告げる次第であります。

財團法人協調會大阪支所